



公益財団法人
庭野平和財団
NIWANO PEACE FOUNDATION

世論調査：日本人の宗教団体への関与・認知・評価の20年
－ 1999年・2004年・2009年・2019年の世論調査から－

公益財団法人庭野平和財団は、「日本人の宗教団体への関与・認知・評価」について、世論調査を実施いたしました。

高まる評価やイメージ、進行する宗教離れ

- 「神道（神社）」と「仏教（寺院）」の信頼度は、この20年間で継続的に高くなった。とくに「神道（神社）」の信頼度は大きく増加した。
- この20年間で、「神道（神社）」のイメージが著しく強くなった。「心・精神的」が9.8ポイント、「伝統行事・冠婚葬祭」が12.8ポイント、「御利益」が15.7ポイント、「伝統文化」が19ポイント増加した。これらの項目は「仏教（寺院）」で高かったが、20年間で追い抜いたことになる。
- 「新しい宗教団体」では、全体的にマイナスイメージが薄れている。
- 宗教団体の社会的影響に関して、すべての選択肢で数値が増加した。とくに「地域社会の交流や安定に貢献している」、「災害時の救援やボランティア活動など社会的に貢献している」が顕著である。
- 宗教団体への課税に関する厳しい意見は明確に減退した。

他方で宗教的行為や宗教団体との関わりは薄れつつある。

- 日本人が一般的に行う宗教行動、具体的な宗教団体との関わりについて、この20年間ドラスティックな変化は生じていない。
- 神社に関する「お祭りの時」、寺院に関する「お盆やお彼岸」の実施率が低下している。「お守りやお札などを身につけている」は増加しているように見える。

《 調査の概要 》

< 2019 年調査 >

- ・調査日 2019 年 6 月 7 日～ 16 日
- ・対象者 住宅地図による満 20 歳以上の男女 4000 人（層化副次（三段）無作為抽出法）
- ・実施方法 個別面接聴取法（官製葉書による事前協力状送付）
- ・有効回答数 1203 人（30.1%）
- ・回答者内訳 男 46%、女 54%▽20 歳代 11%、30 歳代 13%、40 歳代 18%、50 歳代 16%、60 歳代 17%、70 歳代 26%▽21 大都市 28%、その他の市 62%、郡・町村 10%

※本調査は庭野平和財団「日本人の宗教団体への関与・認知・評価に関する調査」による調査で、世論調査の実施は社団法人中央調査社に依頼して行われた。

参考

< 1999 年調査 >

- ・調査日 1999 年 11 月 11 日～ 14 日
- ・対象者 住民基本台帳による満 20 歳以上の男女 2000 人（167 地点、層化二段無作為抽出法）
- ・実施方法 個別面接聴取法（官製葉書による事前協力状送付）
- ・有効回答数 1345 人（67.3%）
- ・回答者内訳 男 45%、女 55%▽20 歳代 11%、30 歳代 17%、40 歳代 19%、50 歳代 21%、60 歳代 33%▽13 大都市 23%、その他の市 54%、郡・町村 23%

※本調査は文部省科学研究費「日本人の宗教意識と行動」（代表者・阿部美哉國學院大学教授）による調査で、世論調査の実施は社団法人・中央調査社に依頼して行われた。

< 2004 年調査 >

- ・調査日 2004 年 10 月 8 日～ 11 日
- ・対象者 住民基本台帳による満 20 歳以上の男女 2000 人（167 地点、層化二段無作為抽出法）
- ・実施方法 個別面接聴取法（官製葉書による事前協力状送付）
- ・有効回答数 1385 人（69.3%）
- ・回答者内訳 男 48%、女 52%▽20 歳代 11%、30 歳代 19%、40 歳代 16%、50 歳代 21%、60 歳代 33%▽14 大都市 23%、その他の市 56%、郡・町村 21%

※本調査は文部科学省 21 世紀 COE プログラム「神道と日本文化の国学的研究発信の拠点形成」の一環としての調査で、世論調査の実施は社団法人・中央調査社に依頼して行われた。

< 2009 年調査 >

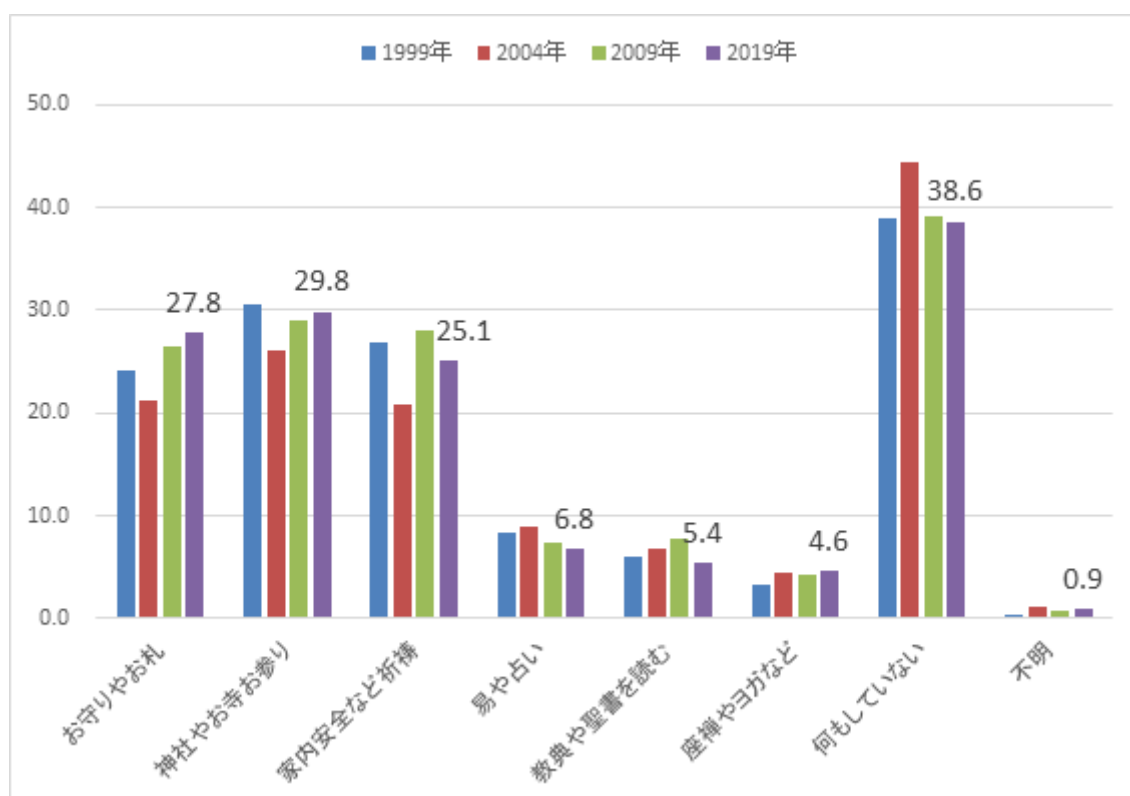
- ・調査日 2009 年 12 月 1 日～ 14 日
- ・対象者 住民基本台帳による満 20 歳以上の男女 2000 人（167 地点、層化二段無作為抽出法）
- ・実施方法 個別面接聴取法（官製葉書による事前協力状送付）
- ・有効回答数 1362 人（68.1%）
- ・回答者内訳 男 47%、女 53%▽20 歳代 13%、30 歳代 19%、40 歳代 16%、50 歳代 18%、60 歳代 35%▽19 大都市 26%、その他の市 64%、郡・町村 10%

※本調査は文部科学省科学研究費「世論調査による日本人の宗教性の調査研究」（代表者・石井研士）による調査で、世論調査の実施は社団法人・中央調査社に依頼して行われた。

どんな宗教的な行為を行っている？

Q1 ここにあげるようなことで、現在、あなたが行っているものがあれば、いくつでもあげてください。 (M.A.)

	1999年	2004年	2009年	2019年
1.お守りやお札などを身につけている	24.2	21.3	26.4	27.8
2.神社や寺などの近くを通りかかったときにはお参りをする	30.6	26.1	29.1	29.8
3.家内安全、商売繁盛、入試合格などの祈禱をしに行く	26.8	20.9	28.0	25.1
4.易や占いの記事を読んだり、見てもらう	8.4	9.0	7.3	6.8
5.教典や聖書など宗教に関する記事や本を読む	6.1	6.9	7.8	5.4
6.ふだんから座禅、ヨガ、ミサ、修行、お勤め、布教などいずれかをしている	3.3	4.5	4.3	4.6
7.どれもしていない、何もしていない	39.0	44.4	39.2	38.6
8.わからない	0.4	1.2	0.7	0.9



○「初詣」「お盆お彼岸の墓参り」「神棚・仏壇の参拝」以外で、日本人が行っていると考えられる一般的な宗教行為は「お守りやお札などを身につけている」「神社や寺などの近くを通りかかったときにはお参りをする」「家内安全、商売繁盛、入試合格などの祈禱をしに行く」の三つで、どれも3割ほどだった。

○実施率を市郡規模別にみると、実施率の高い「お守りやお札などを身につけている」「神社や寺などの近くを通りかかったときにはお参りをする」「家内安全、商売繁盛、入試合格などの祈禱をしに行く」の3項目すべてで、「東京都特別区（東京23区）」の実施率がもっとも高くなっている。

○明らかに宗教的な行為と考えられる「教典や聖書など宗教に関する記事や本を読む」「ふだんから座禅、ヨガ、ミサ、修行、お勤め、布教などをしている」は、低い回答率にとどまっている。

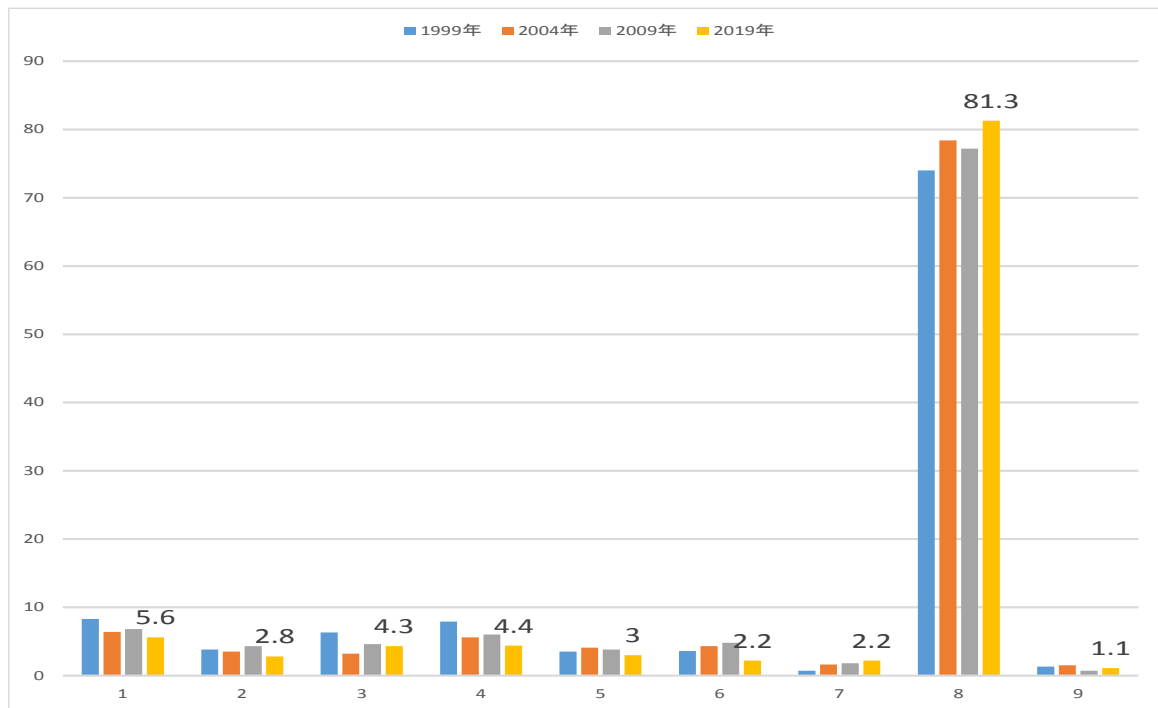
○「どれもしていない、何もしていない」という回答が4割ほどあった。

○この20年間の変化はほとんどみられない。「お守りやお札などを身につけている」が増加しているように見えるが、明白な傾向というためには今度の動向を待たねばならないだろう。

具体的な宗教団体との関わりは？

Q 2 あなたは、この2～3年の間にここにあげるような行事や活動に参加したことがありますか。参加したことがあるものを、すべてあげてください。(M.A.)

	1999年	2004年	2009年	2019年
1.神社やお寺などの伝統芸能の保存運動	8.3	6.4	6.8	5.6
2.教会の日曜学校、バザー、クリスマス礼拝など	3.8	3.5	4.3	2.8
3.神社の総代会や氏子崇敬会	6.3	3.2	4.6	4.3
4.お寺の総代会や護持会	7.9	5.6	6.0	4.4
5.宗教団体の奉仕・慈善活動	3.5	4.1	3.8	3.0
6.宗教団体の主催するセミナーや講演会	3.6	4.3	4.8	2.2
7.宗教団体の政治活動	0.7	1.6	1.8	2.2
8.参加したことはない	74.0	78.4	77.2	81.3
9.わからない	1.3	1.5	0.7	1.1



○もっとも多かった回答は「参加したことはない」で8割を超えている。

○一般的なお参りではなく、より関係の強い「神社の総代会や氏子崇敬会」「お寺の総代会や護持会」は1割に達しなかった。わずかな差であるが、毎回の調査で、「神社の総代会や氏子崇敬会」よりも「お寺の総代会や護持会」の回答率の方が高い。

○「宗教団体の奉仕・慈善活動」、「宗教団体の政治活動」への参加も1割に達せず、きわめて低い結果であった。

○この20年間の変化はほとんどみられない。変化といえるかどうか微妙であるが、積極的な宗教団体との関わりは減少しているように見える。

神棚・仏壇の保有率とお参りの頻度は？

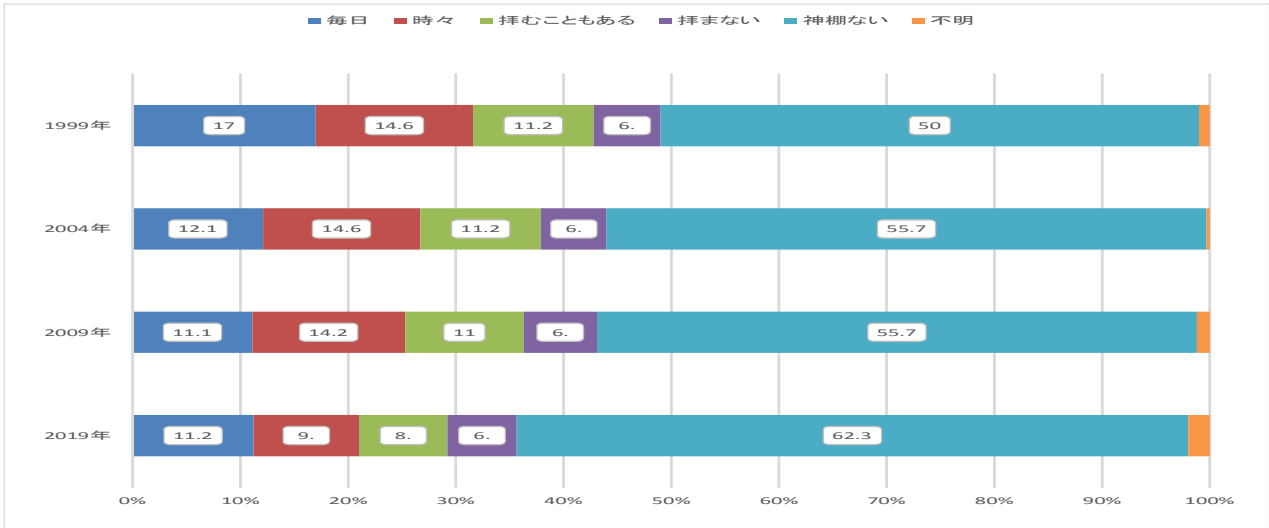
Q 3 あなたの家には神棚がありますか。(ある人に) この中から1つだけあげてください。

	1999年	2004年	2009年	2019年
1.毎日拝む	17.0	12.1	11.1	11.2
2.時々拝む	14.6	14.6	14.2	9.8
3.拝むこともある	11.2	11.2	11.0	8.2
4.まったく拝まない	6.2	6.1	6.8	6.4
5.神棚はない	50.0	55.7	55.7	62.3
6.わからない	1.0	0.3	1.2	2.0

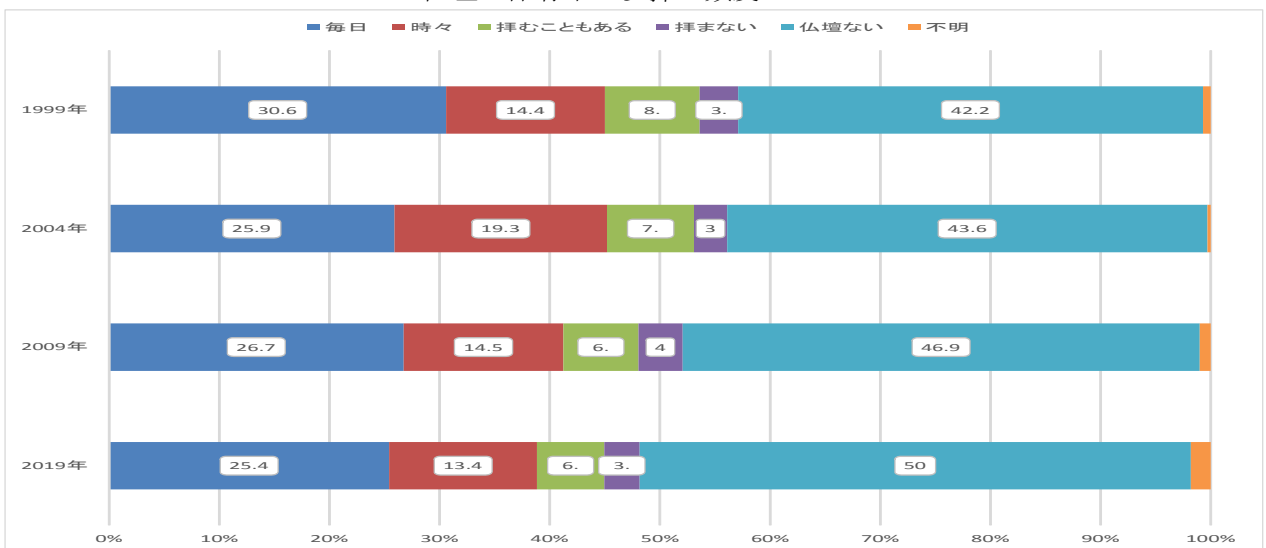
Q 4 あなたの家には仏壇がありますか。(ある人に) この中から1つだけあげてください。

	1999年	2004年	2009年	2019年
1.毎日拝む	30.6	25.9	26.7	25.4
2.時々拝む	14.4	19.3	14.5	13.4
3.拝むこともある	8.6	7.9	6.8	6.1
4.まったく拝まない	3.5	3.0	4.0	3.2
5.仏壇はない	42.2	43.6	46.9	50.0
6.わからない	0.7	0.3	1.0	1.8

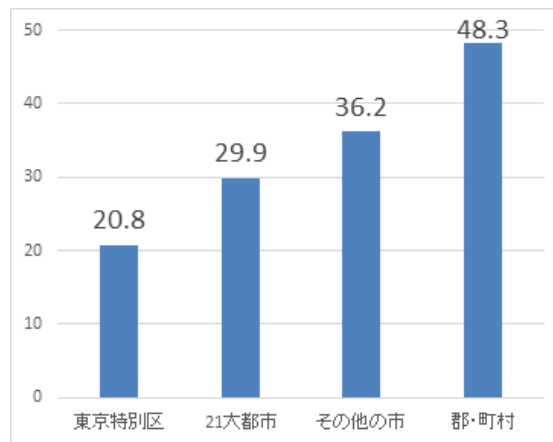
神棚の保有率・参拝の頻度



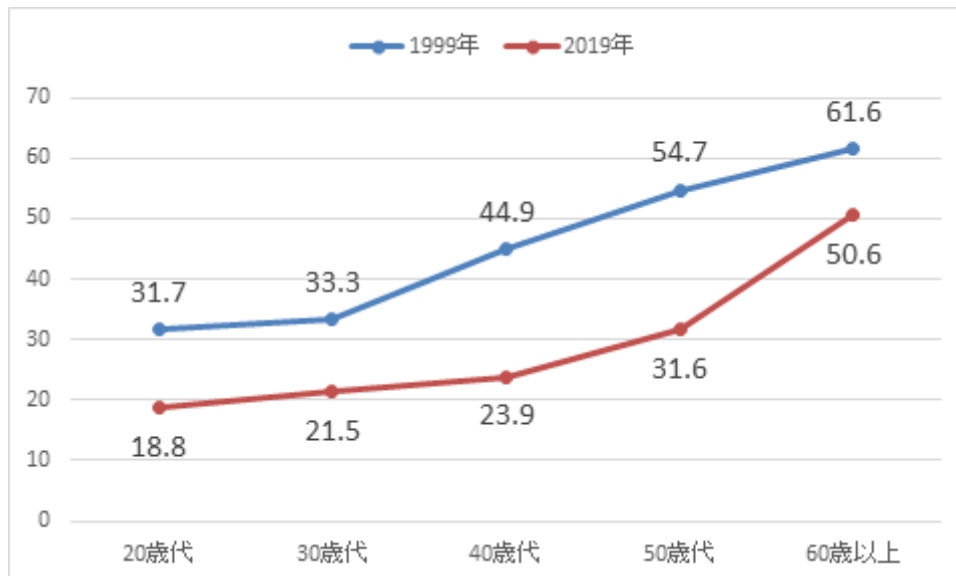
仏壇の保有率・参拝の頻度



- 「神棚」「仏壇」の保有率は20年間、一貫して減少した。「神棚」の保有率は49%から44%、43.1%、35.6%へと減少した。20年間で13.4ポイント減少したことになる。
- 「仏壇」の方が「神棚」よりも保有率が高く、また減少率も緩やかである。定期的な参拝者についても同じ傾向が見られる。
- 「仏壇」の保有率は53.6%から53.1%、48%、44.9%へと減少した。20年間で8.7ポイント減少したことになる。
- 定期的な参拝者（「毎日拝む」と「時々拝む」の合計）は、20年間で「神棚」で31.6%から21%へ、「仏壇」で45%から38.8%へ減少した。
- 「神棚」の保有率は都市規模によって著しく異なっている。「郡・町村」がもっとも高く（48.3%）、「東京特別区（東京23区）」が20.8%と最低になっている。「郡・町村」での「神棚」の保有率は高いものの、第1回調査（1999年）と比較すると、74.3%から48.3%へと26ポイント減少したことになる。わずか20年間での減少としては急激とっていい減少の仕方である。



- 「神棚」の年齢別の保有率を20年前と比較すると、全世代で低下していることがわかる。つまり、1999年に40歳だった者が20年後になっても1999年当時のような保有率の上昇は見られなかった。



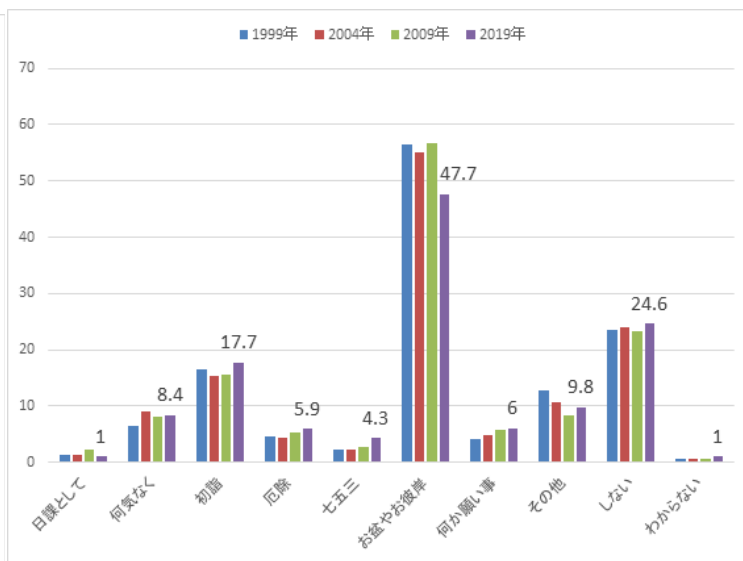
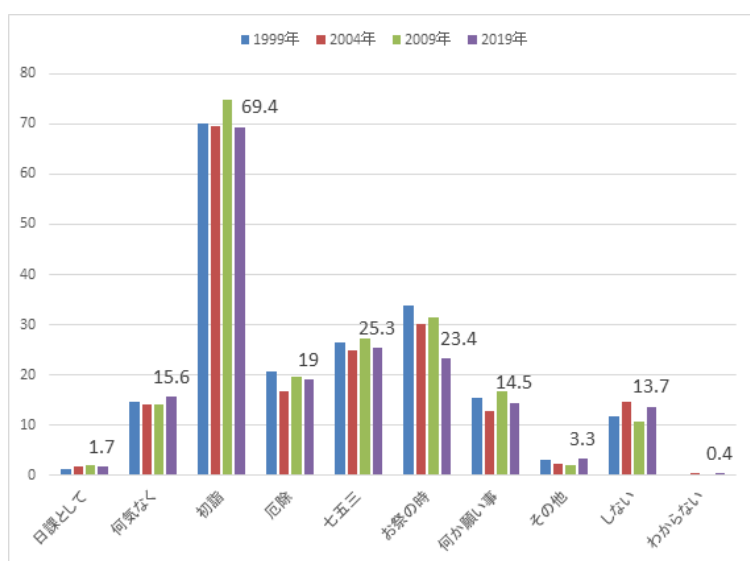
どんな時に神社・お寺にお参りする？

Q5 あなたは、どのような時に神社にお参りに行きますか。この中からいくつでもあげてください。(M.A.)

	1999年	2004年	2009年	2019年
1.日課として	1.2	1.9	2.0	1.7
2.何気なく・通りかかったとき	14.6	14.0	14.2	15.6
3.初詣	70.1	69.5	74.9	69.4
4.厄除	20.6	16.7	19.6	19.0
5.七五三	26.6	24.9	27.3	25.3
6.お祭りの時	33.8	30.1	31.4	23.4
7.何か願い事があるとき	15.5	12.9	16.8	14.5
8.その他(具体的に)	3.0	2.4	2.0	3.3
9.お参りはしない	11.8	14.7	10.6	13.7
10.わからない	0.1	0.5	0.2	0.4

Q6 あなたは、どのような時にお寺にお参りに行きますか。この中からいくつでもあげてください。(M.A.)

	1999年	2004年	2009年	2019年
1.日課として	1.2	1.2	2.2	1.0
2.何気なく・通りかかったとき	6.4	8.9	8.1	8.4
3.初詣	16.4	15.3	15.6	17.7
4.厄除	4.5	4.4	5.3	5.9
5.七五三	2.2	2.3	2.7	4.3
6.お盆やお彼岸	56.4	55.0	56.8	47.7
7.何か願い事があるとき	4.2	4.8	5.7	6.0
8.その他(具体的に)	12.8	10.6	8.4	9.8
9.お参りはしない	23.4	23.9	23.3	24.6
10.わからない	0.7	0.7	0.6	1.0



○神社に行く機会は、もっぱら「初詣」に限られている。ついで「お祭りの時」「七五三」「厄除」の順になるが、実施率は3割を切っている。「何か願い事があるとき」は15%ほどである。

○お寺に行く機会は、もっぱら「お盆やお彼岸」に限られている、「初詣」は2割に達しなかった。

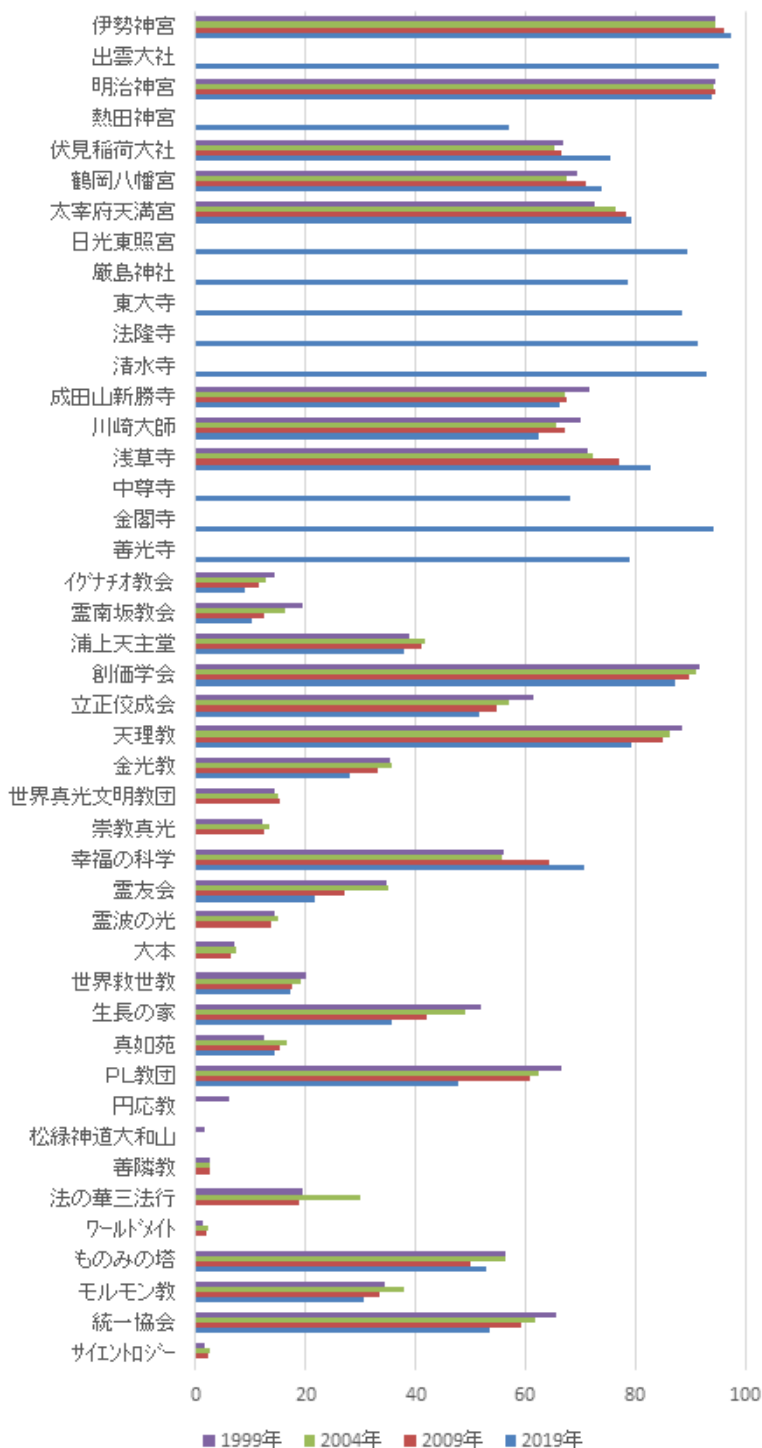
○神社への参拝と寺院への参拝を比較すると、神社へ参拝する機会の方が多い。

○この20年間に大きな変化は見られない。神社に関する「お祭りの時」、寺院に関する「お盆やお彼岸」の実施率が低下している点は、今後も注視すべきと考える。

知っている宗教団体は？

Q 8 あなたは、ここにあげた神社やお寺、宗教団体で聞いたことや知っているものがあればいくつでもあげてください。
(M.A.)

	2019年	2009年	2004年	1999年
伊勢神宮	97.5	96	94.6	94.6
出雲大社	95.3			
明治神宮	93.8	94.6	94.2	94.6
熱田神宮	56.9			
伏見稲荷大社	75.5	66.6	65.2	66.8
鶴岡八幡宮	73.9	71.1	67.5	69.5
太宰府天満宮	79.4	78.4	76.5	72.6
日光東照宮	89.4			
厳島神社	78.5			
東大寺	88.4			
法隆寺	91.4			
清水寺	92.9			
成田山新勝寺	66.2	67.4	67.1	71.5
川崎大師	62.4	67.1	65.7	70.1
浅草寺	82.9	76.9	72.3	71.2
中尊寺	68			
金閣寺	94.3			
善光寺	78.8			
イナチオ教会	9.1	11.5	12.9	14.3
霊南坂教会	10.1	12.6	16.2	19.5
浦上天主堂	38	41.1	41.6	38.9
創価学会	87.3	89.9	91	91.7
立正佼成会	51.5	54.8	57	61.3
天理教	79.2	84.9	86.2	88.6
金光教	27.9	33	35.8	35.3
世界真光文明教団		15.4	14.9	14.3
崇教真光		12.6	13.3	12
幸福の科学	70.7	64.2	55.8	56.1
霊友会	21.7	27.2	35.2	34.6
霊波の光		13.8	15.1	14.4
大本		6.4	7.4	7.1
世界救世教	17.3	17.5	19	20.2
生長の家	35.8	42.1	49.2	51.9
真如苑	14.5	15.3	16.5	12.6
PL教団	47.7	60.7	62.4	66.5
円応教				6.2
松緑神道大和山				1.6
善隣教		2.5	2.6	2.5
法の華三法行		18.9	30.1	19.6
ワールドメイト		2	2.4	1.3
ものみの塔	52.9	50.1	56.4	56.5
モルモン教	30.6	33.6	37.8	34.3
統一協会	53.6	59.3	61.9	65.5
サイレントロー		2.3	2.5	1.7



※第3回調査で認知率が1割以下だった教団を中心に新しい団体を加えた。

- 京都や奈良の寺院、テレビ等で報道されることの多い寺社の認知率は高かった。
- 認知度が高くなる場合には、伏見稲荷、太宰府天満宮、浅草寺、幸福の科学など継続して高くなる一方で、低くなる場合には、成田山新勝寺、川崎大師、創価学会、天理教、PL教団など継続的に低下している。
- キリスト教の教会の認知度はたとえ歴史的に著名であっても低い。
- 新しい宗教団体は、全国展開しているものかマスコミに登場する機会が多いものを選んだが、全体的に低下している。

宗教団体への信頼度は？

Q 11 宗教団体を神道（神社）、仏教（寺院）、キリスト教（教会）、新しい宗教団体に分けたときに、それぞれの宗教団体を信頼できると思いますか。

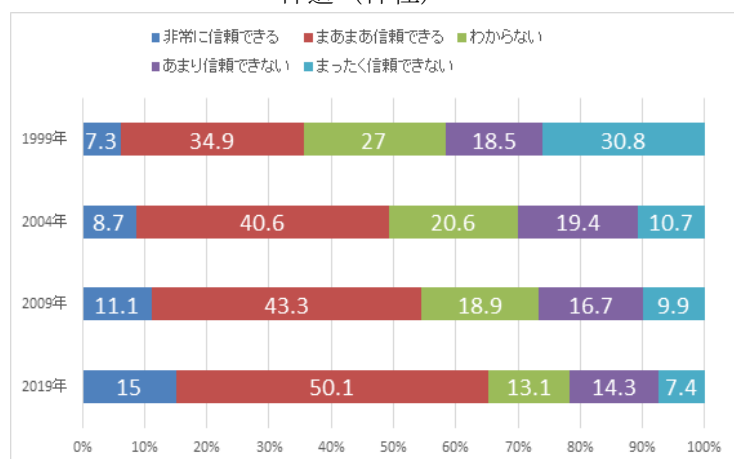
神道(神社)	1999年	2004年	2009年	2019年
1.ひじょうに信頼できる	7.3	8.7	11.1	15.0
2.まあまあ信頼できる	34.9	40.6	43.3	50.1
3.あまり信頼できない	18.5	19.4	16.7	14.3
4.まったく信頼できない	30.8	10.7	9.9	7.4
5.わからない	27.0	20.6	18.9	13.1

仏教(寺院)	1999年	2004年	2009年	2019年
1.ひじょうに信頼できる	14.9	14.2	16.4	18.0
2.まあまあ信頼できる	46.0	52.3	51.8	53.5
3.あまり信頼できない	13.7	13.2	11.0	11.1
4.まったく信頼できない	7.5	6.6	7.5	6.7
5.わからない	17.9	13.7	13.3	10.9

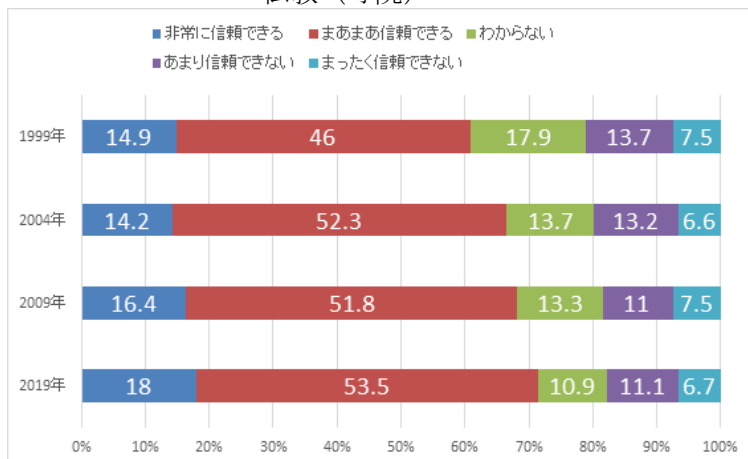
キリスト教(教会)	1999年	2004年	2009年	2019年
1.ひじょうに信頼できる	4.5	3.6	4.6	5.7
2.まあまあ信頼できる	25.2	35.1	35.5	32.9
3.あまり信頼できない	19.5	24.0	22.9	20.2
4.まったく信頼できない	17.1	13.1	12.6	15.8
5.わからない	33.8	24.3	24.4	25.4

新しい宗教団体	1999年	2004年	2009年	2019年
1.ひじょうに信頼できる	0.6	0.5	1.0	0.9
2.まあまあ信頼できる	2.2	2.9	3.8	3.2
3.あまり信頼できない	14.0	21.8	23.5	20.0
4.まったく信頼できない	52.3	52.5	46.4	47.0
5.わからない	31.0	22.3	25.3	29.0

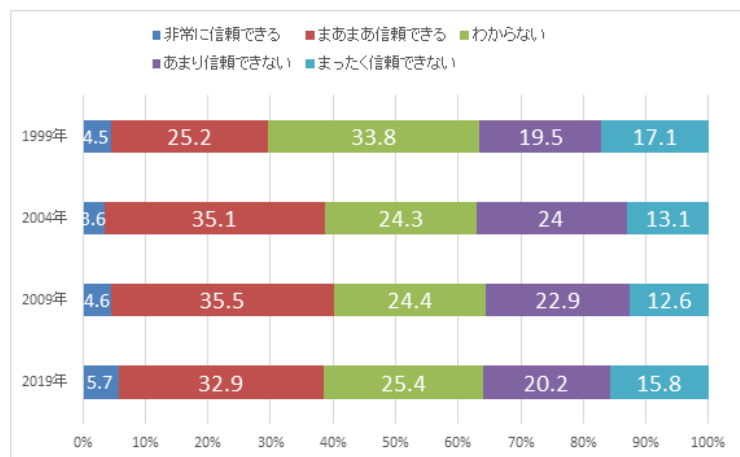
神道（神社）



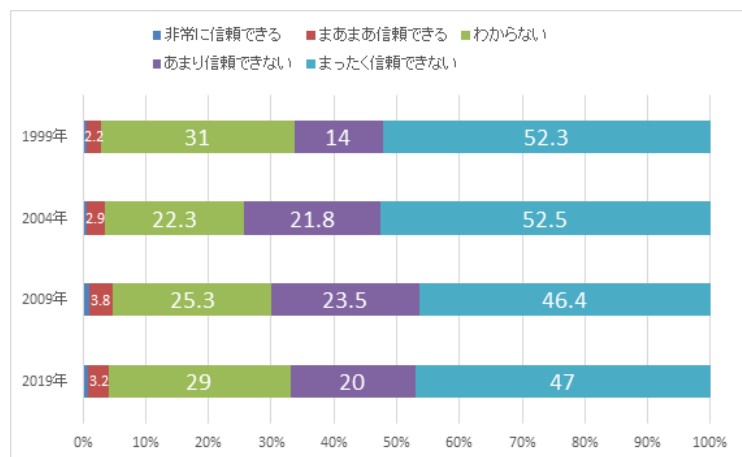
仏教（寺院）



キリスト教（寺院）



新しい宗教団体



- 「神道（神社）」と「仏教（寺院）」の信頼度は、この20年間で継続的に高くなった。とくに「神道（神社）」の信頼度（「ひじょうに信頼できる」と「まあまあ信頼できる」の合計）は大きく、22.9ポイント増加した。この20年間に生じた顕著な神社への関心、たとえば世界遺産、パワースポット・ブーム、式年遷宮、御朱印ブームなどが背景にあると考えられる。
- 「仏教（寺院）」の20年間の増加は10.6ポイントだった。
- 「神道（神社）」と「仏教（寺院）」の信頼度は、各回ともに「仏教（寺院）」の方が高かった。「仏教（寺院）」を信頼できない（「まったく信頼できない」と「あまり信頼できない」の合計）とする回答は2割以下である。
- 10年前の第3回調査報告書では「宗教団体への信頼度は、総じて好転した」と記したが、「キリスト教（教会）」「新しい宗教団体」については、ほとんど変化は見られなかった、という方が適切である。
- 「キリスト教（教会）」は、信頼（「ひじょうに信頼できる」と「まあまあ信頼できる」の合計）が信頼できない（「ひじょうに信頼できない」と「あまり信頼できない」の合計）を上回ってはいるものの、4割弱にとどまっている。
- 「新しい宗教団体」に関しては、第1回調査がオウム真理教事件の余韻が残る1999年であり、厳しい評価が予想された。しかしながら、20年経った現在も大きな変化はなく、そのままの状態が続いている。

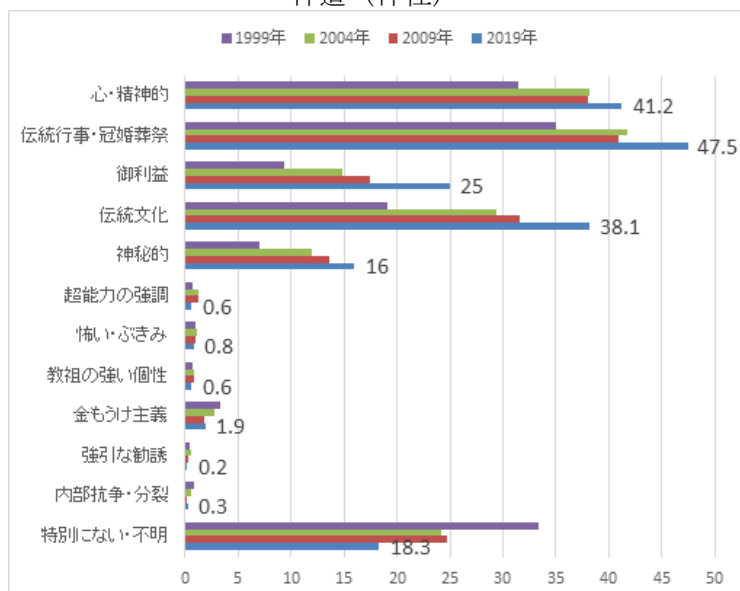
宗教団体のイメージは？

Q 12 あなたは、神道（神社）、仏教（寺院）、キリスト教（教会）、新しい宗教団体に対して、どのようなイメージを持っていますか。それぞれについていくつでもお答えください。(M.A.)

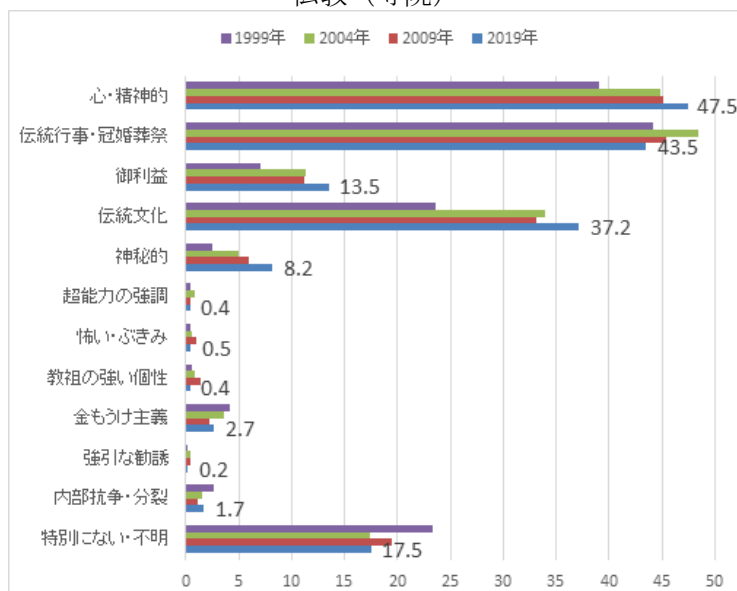
	1999年	2004年	2009年	2019年
1.神道（神社）				
1.心・精神的	31.4	38.1	38.0	41.2
2.伝統行事・冠婚葬祭	35.0	41.7	40.9	47.8
3.御利益	9.3	14.9	17.4	25.0
4.伝統文化	19.1	29.4	31.6	38.1
5.神秘的	7.0	11.9	13.6	16.0
6.超能力の強調	0.7	1.2	1.3	0.6
7.怖い・ぶきみ	1.0	1.1	1.0	0.8
8.教祖の強い個性	0.7	0.9	0.8	0.6
9.金もうけ主義	3.3	2.8	1.8	1.9
10.強引な勧誘	0.5	0.6	0.3	0.2
11.内部抗争・分裂	0.8	0.6	0.2	0.6
12.特別にない・分からない	33.3	24.2	24.7	18.3

	1999年	2004年	2009年	2019年
2.仏教（寺院）				
1.心・精神的	39.0	44.8	45.2	47.5
2.伝統行事・冠婚葬祭	44.2	48.4	45.4	43.5
3.御利益	7.1	11.3	11.2	13.5
4.伝統文化	23.6	33.9	33.2	37.2
5.神秘的	2.5	5.0	6.0	8.2
6.超能力の強調	0.4	0.8	0.4	0.4
7.怖い・ぶきみ	0.4	0.6	1.0	0.5
8.教祖の強い個性	0.6	0.9	1.4	0.4
9.金もうけ主義	4.2	3.6	2.2	2.7
10.強引な勧誘	0.1	0.4	0.5	0.2
11.内部抗争・分裂	2.7	1.6	1.1	1.7
12.特別にない・分からない	23.3	17.4	19.5	17.5

神道（神社）



仏教（寺院）

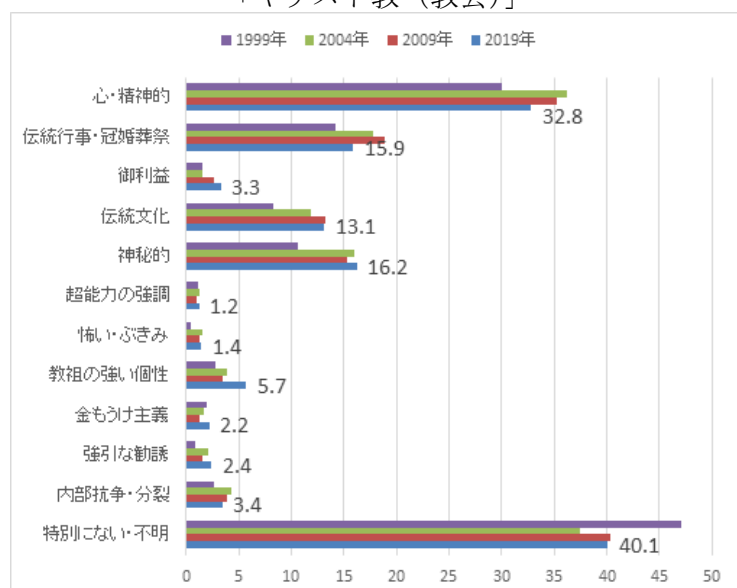


○4つのグラフを比較すると、「神道(神社)」と「仏教(寺院)」の回答結果は近似している。「新宗教」は伝統宗教とはまったく異なった調査結果を示しており、「キリスト教(教会)」は、中間ともいえるグラフとなっている。

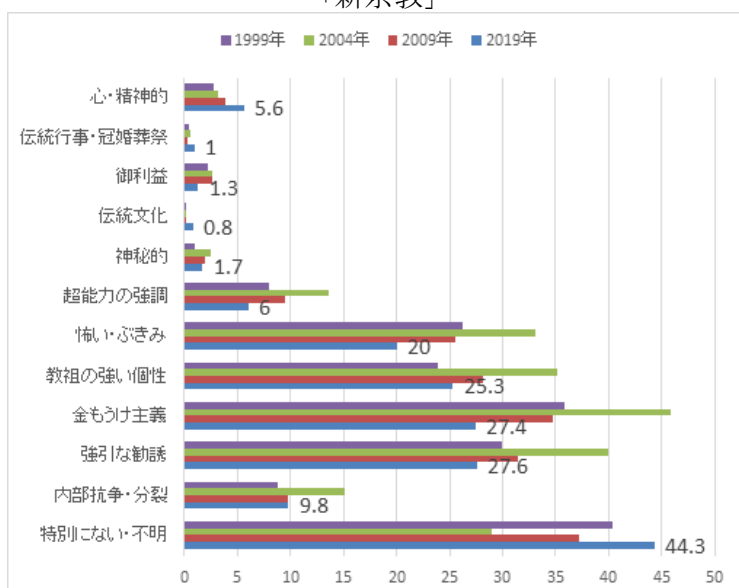
3.キリスト教	1999年	2004年	2009年	2019年
1.心・精神的	30.0	36.2	35.2	32.8
2.伝統行事・冠婚葬祭	14.2	17.8	18.9	15.9
3.御利益	1.6	1.6	2.6	3.3
4.伝統文化	8.3	11.8	13.2	13.1
5.神秘的	10.6	16.0	15.3	16.2
6.超能力の強調	1.1	1.2	1.0	1.2
7.怖い・ぶきみ	0.4	1.5	1.2	1.4
8.教祖の強い個性	2.8	3.9	3.4	5.7
9.金もうけ主義	1.9	1.7	1.3	2.2
10.強引な勧誘	0.8	2.1	1.5	2.4
11.内部抗争・分裂	2.6	4.3	3.9	3.4
12.特別にない・分らない	47.1	37.5	40.4	40.1

4.新しい宗教団体	1999年	2004年	2009年	2019年
1.心・精神的	2.8	3.2	3.9	5.6
2.伝統行事・冠婚葬祭	0.4	0.6	0.3	1.0
3.御利益	2.2	2.7	2.7	1.3
4.伝統文化	0.1	0.1	0.1	0.8
5.神秘的	1.0	2.5	2.0	1.7
6.超能力の強調	8.0	13.6	9.5	6.0
7.怖い・ぶきみ	26.2	33.1	25.6	20.0
8.教祖の強い個性	23.9	35.1	28.2	25.3
9.金もうけ主義	35.9	45.8	34.8	27.4
10.強引な勧誘	30.0	40.0	31.5	27.6
11.内部抗争・分裂	8.8	15.1	9.8	9.8
12.特別にない・分らない	40.4	29.0	37.2	44.3

「キリスト教（教会）」



「新宗教」



○この20年間で、「神道（神社）」のイメージが著しく強くなった。「心・精神的」が9.8ポイント、「伝統行事・冠婚葬祭」が12.8ポイント、「御利益」が15.7ポイント、「伝統文化」が19ポイント増加した。これらの項目は「仏教（寺院）」で高かったが、20年間で追い抜いたことになる。

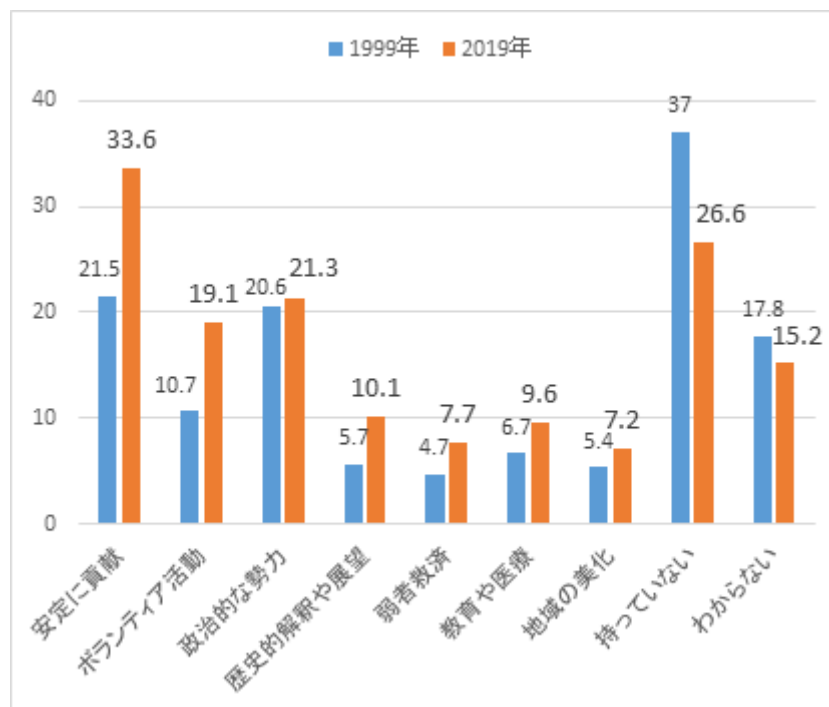
○「仏教（寺院）」も「心・精神的」「御利益」「伝統文化」でポイントが増加した。とくに「心・精神的」は半数近く（47.5%）が回答している。

○「キリスト教（教会）」に変化は見られなかった。

○「新しい宗教団体」は、前回2004年の結果が「金もうけ主義」などマイナスイメージが強かったが、今回調査では全体的にマイナスイメージが薄れている。

Q 11 神社やお寺、新しい宗教団体は社会的にどのような役割を持っていると思いますか。この中からいくつでもあげてください。(M.A.)

	1999年	2004年	2009年	2019年
1.地域社会の交流や安定に貢献している	21.5			33.6
2.災害時の救援やボランティア活動など社会的に貢献している	10.7			19.1
3.選挙の際に活動し、政治的な勢力となっている	20.6			21.3
4.日本の戦後に関する歴史解釈や将来の展望などの点で影響力を持っている	5.7			10.1
5.ホームレスや難民など、弱者救済に活躍している	4.7			7.7
6.学校や病院など、教育や医療の分野で貢献している	6.7			9.6
7.道路や公園の清掃など地域の美化に貢献している	5.4			7.2
8.とくべつ影響力を持っていない	37.0			26.6
9.わからない	17.8			15.2

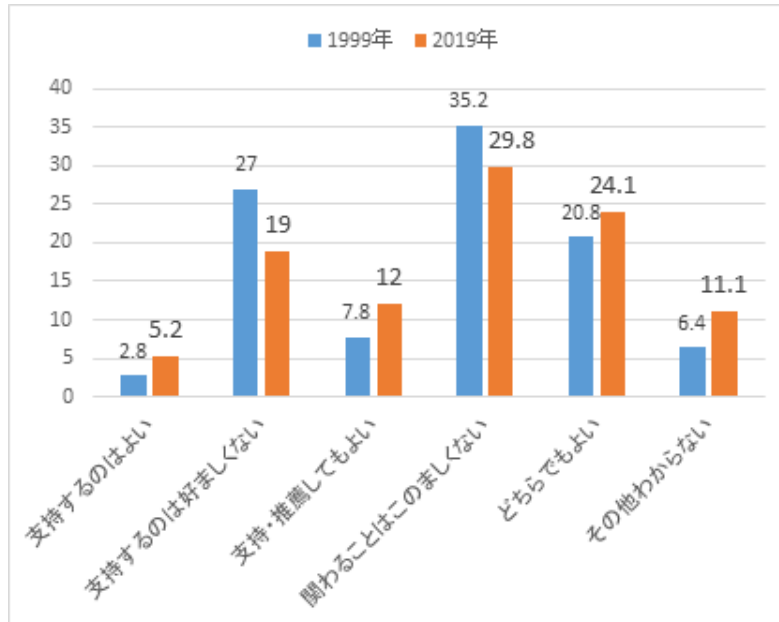


○宗教団体の社会的役割に関する質問は第1回調査（1999年）に実施してから20年ぶりとなる。

○すべての選択肢で数値は増加している。とくに「地域社会の交流や安定に貢献している」（12.1ポイント増加）、「災害時の救援やボランティア活動など社会的に貢献している」（8.4ポイント増加）が顕著である。東日本大震災を始めた自然災害での宗教団体の活動が周知されるようになったことと、関係があると考えられる。

Q 12 宗教団体が選挙で政党や候補者を支持・推薦したりすることがありますが、あなたは、このことをどのように思いますか。この中から1つだけあげてください。

	1999年	2004年	2009年	2019年
1.宗教団体が特定政党を支持するのはよいことだ	2.8			5.2
2.宗教団体が特定政党を支持することは好ましくない	27.0			19.0
3.宗教団体が特定政党を支持することは好ましくないが、候補者個人を支持・推薦してもよい	7.8			12.0
4.宗教団体が選挙に関わることは好ましくない	35.2			29.8
5.支持してもしなくてもよい	20.8			24.1
6.その他	0.1			0.2
7.わからない	6.3			11.1



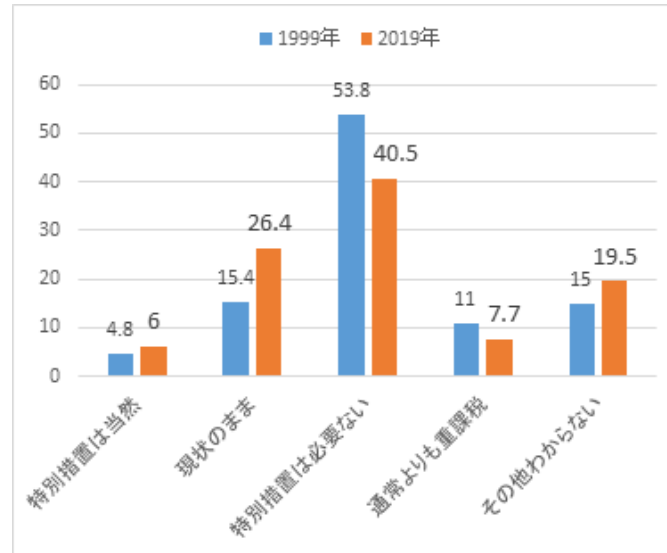
○宗教団体と選挙との関わりに関する質問は第1回調査（1999年）に実施してから20年ぶりとなる。

○質問全体からうかがえるのは、宗教団体が選挙に関わることにに対する抵抗感が減少、もしくは無関心の増大である。「宗教団体が特定政党を支持するのはよいことだ」「宗教団体が特定政党を支持することは好ましくないが、候補者個人を支持・推薦してもよい」が増加し、「宗教団体が特定政党を支持することは好ましくない」「宗教団体が選挙に関わることは好ましくない」が減少した。

○「支持してもしなくてもよい」「その他わからない」が増加している。

Q 13 宗教団体については税制上特別な措置が設けられていますが、このことについてどう思いますか。この中から1つだけあげてください。

	1999年	2004年	2009年	2019年
1.税制上の特別措置は当然である	4.8			6.0
2.特別措置に問題はあるが、現状のままでよい	15.4			26.4
3.税制上の特別措置は必要ない	53.8			40.5
4.宗教団体が行う事業には通常よりも重い課税がなされるべきである	11.0			7.7
5.その他	0.7			0.5
6.わからない	14.3			19.0



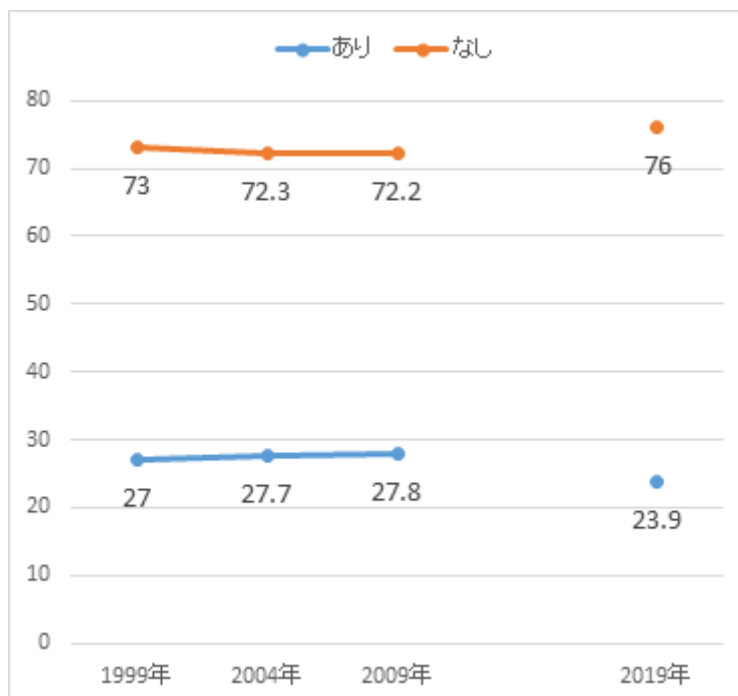
○宗教団体と税制に関する質問は第1回調査（1999年）に実施してから20年ぶりとなる。

○「税制上の特別措置は必要ない」「宗教団体が行う事業には通常よりも重い課税がなされるべきである」とする課税に関する厳しい意見は明確に減少した。

○「特別措置に問題はあるが、現状のままでよい」とする回答が四人に一人以上の割合となった。

Q 7 あなたは、信仰とか信心とかを持っていますか

	1999年	2004年	2009年	2019年
1.有る	27.0	27.7	27.8	23.9
2.ない	73.0	72.3	72.2	76.0
3.わからない	0.0	0.0	0.0	0.1



○近年実施される「信仰の有無」に関する調査では、「信仰あり」は3割を切っている。本調査も4回の調査で同様の結果となっている。

○2019年の調査では「信仰あり」が減少し、「信仰なし」が増加しているが、これを傾向とみるか誤差とみるかは今後の調査に待たなければならない。